

演者紹介

井原 智 (いはら さとし)

昭和42年 学習院大学理学部化学科卒業、大学院で放射化学分析を専攻
昭和46年 第一種放射線取扱主任者免状取得、
その後ガスクロマトグラム、厚さ計等の事業所の放射線取扱主任者を歴任し、
昭和48年より聖マリアンナ医科大学医学部放射線取扱主任者、
昭和51年より杏林大学医学部放射線医学教室助手、その後同大学院医学研究科共同研究施設放射線同位元素部門講師で、放射線安全管理学を担当
平成24年3月 定年退職

この間、特に医学研究用放射性物質の安全管理実務に従事し、学外では
日本アイソトープ協会、日本保健物理学会、日本放射線技術学会、
放射線障害防止中央協議会などで
放射性同位元素の安全取扱い及び医療関係の放射線管理体制の整備に
ついての啓蒙活動を行なってきた。

平成 7年 科学技術庁 放射線安全管理功労者表彰で科学技術庁長官賞受賞
平成15年 東京消防庁 消防総監より危険物保安監督者として安全功労表彰

学会などでは

日本アイソトープ協会放射線取扱主任者部会の

関東支部長、年次大会実行委員長、本部運営委員、企画委員、広報委員
放射線障害防止中央協議会主催放射線安全管理講習会の講師
医療放射線防護連絡協議会の学会誌編集委員
大学等放射線施設協議会の常議員 等を歴任してきた。

また、「医療領域の放射線管理マニュアル」、「医療放射線管理測定マニュアル」、
「放射線管理の記帳・記録の手引」など放射線安全管理マニュアル類の執筆、又は
編集委員を担当してきた。

平成23年の福島原子力発電所事故後は、福島県古殿町健康管理アドバイザーなど、
放射線障害についての啓蒙活動をおこなっている。